

受章おめでとうございます —春の叙勲、危険業務従事者叙勲—

春の叙勲と危険業務従事者叙勲が4月29日に発表され、市内から3人が受章されました。おめでとうございます。



五十嵐 恒親さん
つねちか
牛深町・80歳
◎旭日小綬章
元牛深市議会議員



浦田 夕美さん
ゆみ
宮地岳町・85歳
◎瑞宝双光章
元公立小学校校長



浦中 捷幸さん
かつゆき
新和町大多尾・72歳
◎瑞宝単光章
元熊本県警部

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の◎は春の叙勲、◎は危険業務従事者叙勲。



▲「宇宙から見る地球は美しかった」と語る毛利さん



▲「山にエサがなくなった」と訴えるイノシシ役の生徒

まもる 毛利衛氏講演会

宇宙の魅力と不思議を語る

4月21日、日本科学未来館・館長で宇宙飛行士の毛利衛さんの講演会が天草市民センターで行われ、市内の11中学校から約700人が参加しました。

これは市が、生徒たちの環境問題に対する関心を高めるとともに、将来の夢をはぐくんでもらおうと実施。第1部では、身近な環境問題としてイノシシによる農作物被害について、生徒たちが農家役とイノシシ役にわかれて討論しました。第2部の講演で毛利さんは、「宇宙の地球人としての私たち」と題して、宇宙空間で身長が5cm伸びたこと、カエルやニワトリの卵を使った実験から生命の誕生には重力が関係することなど、自身が実際行った実験映像などを交えながら説明しました。

また、宇宙から地球を見て「生命が存在できるのは地球しかないと思った」ことも紹介するなど、毛利さんの貴重な体験談に、聴衆は興味深く聞き入っていました。

竜洞山健康ウォーク

新和

新緑の風を肌感じて

竜洞山から望む不知火海の眺めを楽しみながら、森林の中を散策する「第6回竜洞山健康ウォーク」が5月2日、新和緑の村一帯で開催され、市内外から220人が参加しました。コースは、同村の管理棟前をスタート・ゴールとする全長5km。参加者は、思いおみのペースで歩きながら、新緑の風を肌で感じていました。ゴール後は、アオサ汁などがふるまわれたほか、地元の海産物などが当たる抽選会やもち投げも行われ、大いににぎわいました。



▲新緑のトンネルを通る参加者

天草漁協崎津支所が朝市を開催

河浦

とれたての魚介類に行列

天草漁協崎津支所の荷さばき所で5月3日、とれたての魚介類などを売る朝市が開かれました。これは同支所が、地元でとれる魚介類を多くの人に知ってもらい、消費拡大や地域の活性化につなげようといわれたもので、今回で2回目。この日は連休中ということもあり、会場には観光客や帰省客が大勢詰めかけ、天然のヤズには行列ができるなど大盛況。訪れた観光客は「ウニや魚のみりん干しなど、いいおみやげができた」と満足そうに話していました。



▲新鮮な魚介類の品定めをする買い物客

ひゃくまんべん 伝統行事「百万遍（虫追い）」

栖本

五穀豊穡、無病息災を願って

5月9日、大河内地区の伝統行事である「百万遍」が大河内自治公民館で行われました。この行事は、参加者が輪になり、長さ約16メートルもある特製の念珠を回しながら、五穀豊穡や無病息災、先祖供養を祈願するもの。栖本町内では毎年2地区で行なわれていますが、地区をあげて実施しているのは大河内地区のみです。参加した地区住民30人は、地元の僧りよといっしょになって念仏を唱えながら、大きな念珠を次々に回していました。



▲念仏を唱えながら念珠を回す地区の皆さん

熊本県四半的弓道連盟競射大会

有明

神経を集中して矢を射る

4月24日、熊本県四半的弓道連盟主催の競射大会が有明体育館で行われ、県内外の四半的弓道の愛好者32チーム・150人が参加しました。この競技は、座った姿勢で約8メートル先の小さな的を目標けて矢を放つもの。参加者は、日ごろの練習で磨いた腕前を披露し、矢が的を射抜くと“ヨシ”という力強い声があがるなど、熱戦を繰り広げていました。また、有明町内からも3チーム・15人が出場し、健闘を見せていました。



▲力強く弓矢を引く参加者